



あおもりの未来
技術でサポート

野菜研究所ニュース

No.26 2020.7

青森県産業技術センター 野菜研究所

< 掲載記事 >

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ○新所長から挨拶 | ○トピックス |
| ○令和2年度各部の研究紹介 | ・ナガイモ優良種苗増殖ハウス完成 |
| ・あおもりながいも産地力強化推進事業(栽培部) | ・ニンニク優良種苗生産研修会 |
| ・ニンニク高規格品品種の育成(品種開発部) | ○人の動き |
| ・ドローンによる省力防除の実用化(病虫部) | ・新採用職員の紹介 |
| | ・転出入者 |

新所長から挨拶

この度、青森県産業技術センター野菜研究所長を拝命しました今満です。当研究所には平成28年度から3か年勤務し、病害虫、品種開発、研究管理の業務を行い、昨年農林総合研究所に転勤後、再び戻ってまいりました。

本県は産出額が東北一を誇る野菜の大産地であり、ナガイモやニンニク等は、農家個々の経営の大黒柱となっており、これらの研究に携わることは、たいへんやり甲斐を感じるとともに、身の引き締まる思いです。

当研究所では、労働力不足への対応と生産性向上、優れた品種の開発と種苗供給、安全で効果的な病害虫防除技術の開発等に取り組んでおりますが、使ってもらう人を具体的にイメージしながら技術開発を進め、取り入れやすく、儲けにつながる成果をあげていくことが重要であると考えております。

そのために、生産農家の方々、営農や経営を指導するの方々など現場や関係機関との連携を深め、販売・消費者等の状況把握に努め、職員一同とともに「あおもりの未来をサポートする」研究を行っていく所存ですので、何とぞよろしくお願いいたします。

野菜研究所 所長 今満

あおもりながいも産地力強化事業（栽培部）

この事業は県農産園芸課が令和1～2年に行っているもので、当研究所では多収栽培技術の構築と、最先端機械による省力技術の実証を行っています。

多収栽培技術では、種いもの頂芽処理方法や催芽切いもの利用に追肥方法を組み合わせ効果を検討しています。省力技術では、自動操舵トラクタ+ロータリトレンチャー・センター掘り機、植付機、幅狭トラクタ等を使用して省力化の効果を実証します。



早期芽欠き



催芽切いも



自動操舵トラクタ
+トレンチャー

ニンニク高規格品品種の育成（品種開発部）

当研究所ではニンニクの優良品種の開発に取り組んでおり、これまで福地ホワイト（黒石A系統）から優良株の選抜を進めています。

現在、大玉で外観形質が優れる系統の育成を目指し選抜系統の特性調査を行うとともに収量性を調査しています。

選抜系統は6月19日に収穫を行い乾燥した後、品質等の調査を行うこととしています。



選抜系統の収穫

ドローンによる省力防除の実用化（病虫部）

本県のニンニク栽培は、高齢化や労働力不足が課題となっており、防除技術の省力化のためドローンによる防除に期待が高まっています。

しかし、ニンニクには無人航空機用の高濃度・少量散布で使用できる登録農薬がありません。そのため、ニンニクの主要病害虫であるネギコガとさび病に対する

ドローンによる高濃度・少量散布による薬剤の付着状況、防除効果、薬害について検討しています。



ドローンによる散布

ナガイモ優良種苗増殖ハウス完成

本県野菜の主力品目であるナガイモの優良種苗の生産量を増加させるために、その大元となる原原種苗の増殖施設を新設しました。

この施設の建設は平成30年度の地方創生事業に採択され、平成31年4月から設計、令和元年10月に着工、令和2年3月に完成しました。施設規模は888㎡となっており、現状の2棟と新施設を利用した

種苗の増殖で、恒常的に原原種むかごを300kg以上、天候不良による低収年でも250kgを供給することが可能となります。



完成した増殖ハウス

ニンニク優良種苗生産技術研修会

県農産園芸課と全農あおもりが主催するニンニク優良種苗生産技術研修会が5月22日、当研究所で開催され、JA担当者、普及指導員等の32名が参加しました。

研修会は、まず屋外のニンニク作況圃場で、県農林水産政策課から5月10日現在の生育は平年並みからやや早まっており、収穫期がやや早まることもあるので収穫・乾燥の準備を計画的に行うこと、春腐病の発生が平年より多く防除を徹底することなど説明されました。

引き続き、会場を農機具庫に移し、当研究所から収穫までの病虫害防除管理、収穫時期の判定と適正乾燥、イモグサレセンチュウ防除対策についての説明を行い、活発な質疑があり終了しました。



ニンニク作況圃場での説明



病虫害防除管理の説明

人の動き

○本年度2名の方が新採用として当研究所に赴任しました。よろしくお願ひします。



栽培部庶務担当
水嶋 剛志

事務職員として様々な仕事を覚え、職員の研究を支えていきたいです。

県南に住むのは初めてですので、こちらの風土に慣れつつ、楽しさを見つけていこうと思います。



病虫部
本多 学

農学の研究がしたいと思っていたので、毎日が楽しいです。

青森県の農業に少しでも力になれるよう勉強していければと思います。

○転出者(令和2年3月31日付)

職名	氏名	新所属
所長	菊池 昌彦	退職
研究管理監	須藤 充	農林総合研究所 企画経営監
研究管理員	古川 尊仁	農林総合研究所 研究管理員
主任研究員	谷川 法聖	農林総合研究所 主任研究員
主査	中川原 廣守	県へ復帰

○転入・昇任者(令和2年4月1日付)

職名	氏名	旧所属
所長	今 満	農林総合研究所 研究管理監 花き・園芸部長事務取扱
研究管理監	木村 勇司	農林総合研究所 総括研究管理員 病虫部長事務取扱
総括研究管理員 栽培部長事務取扱	細田 洋一	栽培部長
研究管理員	藤澤 春樹	農林総合研究所 研究管理員
主事	水嶋 剛志	新採用
研究員	本多 学	新採用

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 野菜研究所

〒033-0071 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柳沢91 0176-53-7171